

分科会開催報告書

報告日 令和4年12月28日（水）	報告者 長島和子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第166回浮雲俳句会
開催日時 令和4年12月25日（日） 午前10時～12時	開催場所 いきいきセンター 晴嵐かなざわ
参加人数 浮雲俳句会会員 男8名 女4名 合計12名 欠席者2名	

実施内容

第166回例会は兼題「明（か）り」（仲冬）を入れた1句。当季雑詠3句、合計4句。
 最初に太田重九代表より、来年度の会運営について、選句の特選句佳作の扱いについて、提案があり、話し合う。
 句会では西村あきえ会員による選句の披講後、会員各々が選んだ特選句の選評。
 月当番による合評後、質問、意見、添削等、活発な意見交換がなされた。
 全会員により、特選句7句を選ぶ。。

特選句

はんなりと障子明りに観世音	祥 代
ボロ市や人待ち顔の古こけし	二 点
払暁の明かりほのかや霜の華	十 九
着地してなほ音転（まろ）ぶ枯葉かな	あきえ
大原の角なき野辺や雪明り	二 祥
機（はた）の明かり冬の星座に埋もれけり	重 九
凍鶴（こりづる）の脚一本の四次元	十 九

次回の予定

令和5年1月29日（日） 午前10時～12時
 「第167回例会」はいきいきセンター晴嵐かなざわ
 兼題「生」を入れた1句、他に当季雑詠3句合計4句。
 披講 太田重九会員